

1976 (昭和51年)

会員数64名

25代理事長  
魚海収三



この年、25周年を迎えた八幡浜青年会議所の新年祝賀会は快晴の元旦でスタートをきった。一般参加者90余名、25代魚海収三理事長はこの輝かしい25年を迎えるに当り青年会議所の在り方・方針・抱負等を力強く語り並々ならぬこの一年間取り組む姿勢を示した。



創立25周年記念式典で挨拶する魚海理事長

2月17日、25年目にあたる創立記念日の懇談会は、伊藤旅館でOB 16名、現役37名、例年にない出席人数でOB諸氏より魚海理事長に励ましの言葉があり酒が入るとの自慢大会の余興もあり、なごやかな記念すべき会であった。

2月12日メンバー12名で伊方原発見学、原子炉や放水口を見学、四国電力の係員の説明を聞いた。

4月10日市民会館中ホールで児童合唱団の第3期生の入団式を行い新しく41名の児童が加わった。

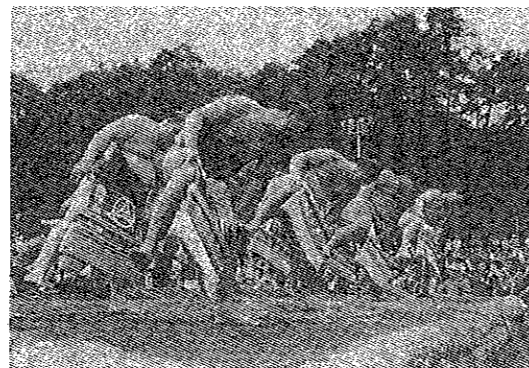
5月30日創立25周年記念式典は市民会館中ホールで開催された。スポンサーである東京JCから2名、県内外JC 113名、来賓65名、OB会員30名の参加で魚海理事長の挨拶で始まり盛大に挙行された。20周年程ではないが、小じんまりとまとまった式典であり、5時からの懇親会パーティーは大賑いであった。八幡浜の懇親会は定評があり、名物天ぷらコーナーは揚げるのが間に合ぬ程の好評で、他のカニコーナー・フルーツコーナーも人気があり会場の中ホール狭しとばかり楽しい談話が絶えず、最後にメンバー同てやてや踊りを踊り、会の幕を閉じた。

6月6日JC経済交流会が佐賀関で開催される。早朝6時30分に集合した理事長始め12名はフェリーで佐賀関へ。早吸日女神社参集殿で白杵JC大分県会議員の後藤利氏の講演、6JC交流会の今後のあり方等を話し合い、昼食後は、ソフトボール大会、懇親会では理事長の十八番「巨人の星」の歌は人気を博した。その為か、帰り白杵発のフェリーにタッチの差で乗りおくれ、メンバーが八幡浜へ帰ったのが夜の11時30分を過ぎていた。

25周年記念事業のJCちびっ子広場の建設にあたり、7月26日メンバー26名と市役所関係者の出席で工事無事完成を願い地鎮祭を行った。この工事は8月5日着工しメンバーが毎日交替で午後6時より連日作業に参加、メンバーの

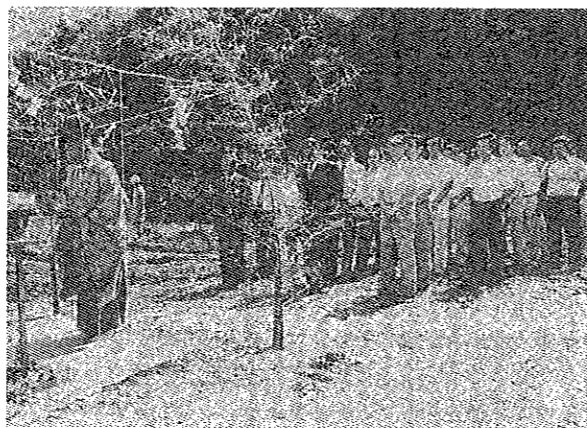
手づくりの公園は11月に完成した。

身障者チャリティー・横綱前田山迫善日本大相撲八幡浜場所は、10月23日王子の森公園で開かれた。当代人気力士・北の湖、輪島の両横綱、大関貴の花来たとあって当日は早朝よりファンがかけつけ、入場者は、4,300人を数えた。会員は場内整理と売店にてんてこ舞いの忙しさであった。心配された雨もどうやら持ちこたえたが相撲終了と共に雨が降り始め、雨の中をメンバーは大急ぎで後片付けを行なった。

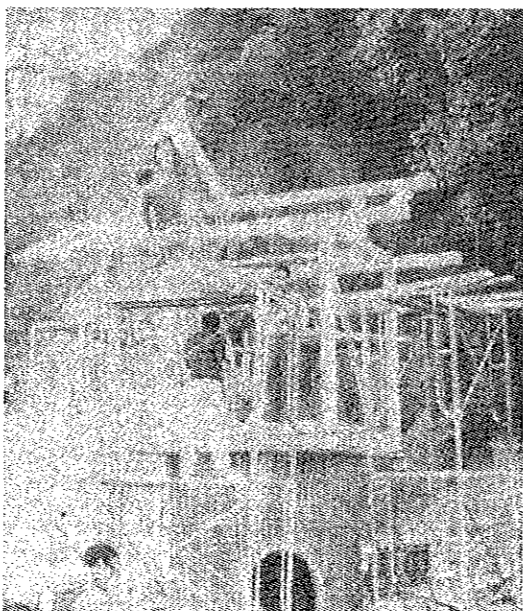


横綱前田山迫善日本大相撲(王子の森公園で)

25周年という記念すべき一年、多くの事業も苦もなく消化し、実に充実した素晴らしい一年であった。



ちびっ子広場建設の地鎮祭



ちびっ子公園造りに汗を流す会員諸君!

1977 (昭和52年)

会員数65名

26代理事長  
平田真一



1月1日新年合同祝賀会において平田真一新理事長は、所信表明で、四つの基本方針を柱としてかかげた。昨年25周年事業を終え、次なる分の一世紀へのスタートの年となる。2月8日、商工会館中ホールに於て第1回JC講座が行なわれる。(この一年間で計10回のJC講座が行なわれた。)これは、JCマンとして、又、一企業としての勉強会であり、形式にとらわれず経営者の質の向上をねらったものであり地味な事業ではあったが、メンバーの理解と協力で高出席率を得た。

3月11日JCデー統一行事としての市議会傍聴による地方自治問題をとりあげた。市議会を傍聴する市民が少ないという現実をふまえて、「築こう日本の礎、はかろう自意識の高揚」日本JCスローガンの基で市民の自治意識の高揚を目指すもの。



JCデー、地方自治講演会(講師は八幡浜新聞社社長松井氏)

6月11日恵比須堂旅館に於てLD道場開催。実習内容としては、コンセンサスによる集団意志の決定で、アメリカ航空宇宙局で飛行士を養成する時に行なわれる楽しく興味を覚えるものであった。「月で遭難した時にどうするか?」をテーマに26名のメンバーが挑戦した。この実習のねらいは、課題の達成をしていく上でメンバーが、葛藤、摩擦を恐れぬ、自由で活発なコミュニケーションを展開し、グループに潜在する資源を出来るだけ開発する。いかにもアメリカらしいナサ実習であった。

8月7日第15回愛媛県下少年少女合唱団合同演奏会が市民会館で行われ大成功をおさめた。



県下少年少女合唱団合同演奏会(於・八幡浜市民会館で)

9月18日福祉センターに於て6JC交流会(佐賀関、白杵、大洲、宇和高、南宇和、八幡浜)が開催された。他ロムより51名の参加でお互いの親睦をはかり、特にソフトボール大会では、ファインプレー、珍プレーの続出で、なごやかな内にも盛大な催しであった。

10月28日市民会館に於て献血。メンバー23名出席。この献血も八幡浜JC恒例行事の一つとなり、現在に至り、市民からも高く評価され、現在はメンバーの企業等を含めた地域ぐるみの運動へと発展している事は喜ばしい事である。

11月27日愛媛ブロック協議会が市民会館で開催された。八幡浜35名、他ロム126名の出席である。

事業活動も既に殆ど消化され、各ロム共、次年度における意気込みを十分に感じさせてくれ、懇親会に於ては、各理事長さんの自慢の喉で、ますます酒量も増し、和気あいあいの中にも、今年一年の消化した事業に対する安心感あるいは自信も感じとられた。

12月4日合唱団、松山市伊台フィールドアスレチック見学行。この様に合唱団の子供達と行動を共にし、3年間学び巣立って行く時には、お互いに言葉にならず、熱いものがこみ上げてくる。嬉しい様なさびしい様な気持ちです。今年も11月6日第4回定期演奏会を盛會に無事に修了した。



松山フィールドアスレチックでレクレーションの一日

合唱団の子供達と楽しい一日

12月18日定時総会、卒業式及び懇親忘年会が商工会館大ホールで行なわれた。卒業生は直前理事長魚海収三氏(7ヶ年例会皆出席)と飛弾築氏の2名である。



合唱団第4期生入団式に挨拶の平田理事長